



ふくい

市議会だより

No.222

令和3年8月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



福いね!

いまの時代、自分からアピールしなきゃ!

【駅西側】更地となった
福井駅前電車通り北地区A街区

福井駅前電車通り北地区A街区第一種市街地再開発事業



完成予想図



【駅東側】足場で覆われた新幹線駅舎

福井駅周辺では、北陸新幹線福井開業に向けて、着々と整備が進んでいます。駅東側では、新幹線を迎え入れる駅舎の姿が見えてきました。

また、駅西側の福井駅前電車通り北地区A街区では、ホテルなどの建物が取り壊され、更地となりました。この後、ホテル・住宅・商業施設などを備えた県内最大級の複合ビルが建設される予定です。

↑北陸新幹線福井開業に向けて 変わりゆく福井駅周辺の景観

委員会審査

詳細は3～4ページ

議員21人が一般質問を行いました

詳細は5～9ページ

請願2件、陳情1件を審議しました

審議結果は11ページ

市長提出の議案13件、報告12件を 審議しました

主な議案は3ページ
審議結果は10～11ページ

6月 定例会 (6月7日～6月24日)

市長提出の議案1件、報告6件を 審議しました

主な議案は3ページ
審議結果は10ページ

正・副議長などの各役職を選出 しました

詳細は2ページ

5月 臨時会 (5月20日)

議会の構成

◆ 皆川 信正 議長



皆川議長は市議当選6回で、この間、議長、議会運営委員会委員長のほか、新型コロナウイルス等影響対策特別委員会委員長などを歴任しました。

【住所】

福井市花堂中2-28-26

◆ 玉村 正人 副議長



玉村副議長は市議当選3回で、この間、教育民生委員会委員長、議会運営委員会副委員長のほか、監査委員などを歴任しました。

【住所】

福井市御幸2-4-19

(敬称略)

委員会名		委 員 名					◎委員長	○副委員長
常 任 委 員 会	総 務	◎水島 秀晃 池上 優徳	○片矢 修一 榊原 光賀	下畑 健二 山田 文葉	泉 和弥	伊藤 洋一		
	建 設	◎八田 一以 奥島 光晴	○津田 かおり 村田 耕一	皆川 信正 藤田 諭	見谷 喜代三	石丸 浜夫		
	教育民生	◎菅生 敬一 玉村 正人	○中村 綾菜 福野 大輔	青木 幹雄 寺島 恭也	野嶋 祐記	鈴木 正樹		
	経済企業	◎今村 辰和 近藤 實	○堀川 秀樹 酒井 良樹	加藤 貞信 岩佐 武彦	堀江 廣海	田中 義乃		
議会運営委員会		◎池上 優徳 泉 和弥	○村田 耕一 伊藤 洋一	堀川 秀樹 八田 一以	下畑 健二 水島 秀晃	藤田 諭 榊原 光賀		
特 別 委 員 会	財政再建下での持続的市勢発展対策	◎青木 幹雄 池上 優徳	○片矢 修一 寺島 恭也	下畑 健二 山田 文葉	田中 義乃	藤田 諭		
	予 算	◎水島 秀晃 鈴木 正樹 藤田 諭	○津田 かおり 堀江 廣海 伊藤 洋一	加藤 貞信 村田 耕一 福野 大輔	皆川 信正 田中 義乃 酒井 良樹	堀川 秀樹 中村 綾菜 岩佐 武彦		

(敬称略)

議 会 選 出 の 各 役 職 一 覧

監査委員	下畑 健二	村田 耕一		
福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員	皆川 信正 榊原 光賀	玉村 正人	石丸 浜夫	八田 一以
鯖江広域衛生施設組合議会議員	堀川 秀樹	藤田 諭	岩佐 武彦	
福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	皆川 信正	伊藤 洋一	水島 秀晃	
土地開発公社理事	皆川 信正 村田 耕一	玉村 正人	加藤 貞信	今村 辰和
都市計画審議会委員	堀江 廣海	池上 優徳		
社会福祉審議会民生委員審査専門分科会委員	福野 大輔			
青少年問題協議会委員	田中 義乃			
少年愛護センター運営委員会委員	津田 かおり	酒井 良樹		
社会教育委員	菅生 敬一	寺島 恭也	山田 文葉	
通学区域審議会委員	青木 幹雄	奥島 光晴	鈴木 正樹	
学校給食運営委員会委員	下畑 健二	玉村 正人	泉 和弥	
福井市総合計画審議会委員	玉村 正人 八田 一以	藤田 諭	泉 和弥	菅生 敬一

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10～11ページに掲載しています。

5月臨時会

人事案件

○監査委員

監査委員の欠員を補充するため、村田耕一氏を選任することに同意しました。

6月定例会

令和3年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で15億912万3千円を増額するなど、補正後の予算額は1,184億9,292万3千円となります。

また、補正後の全会計の予算額は、2,232億6,392万3千円となります。

○一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対応に関する事業として、小・中学校の特別教室に空調設備を整備する『「新たな日常」に向けた学習環境整備事業』、小

規模事業者の非対面型ビジネスモデルやサービス導入に要する費用を支援する『小規模事業者ポストコロナ対応加速事業』、観光事業者への支援として、県の観光促進事業に合せて、市内宿泊施設の平日利用者に対する宿泊割引を行う『宿泊滞在型観光促進事業』、同感染症の拡大により特に大きな影響を受けている宿泊事業者及びタクシー事業者の事業継続を支援する『宿泊事業者等事業継続支援事業』、広域移動を伴う観光が困難な中、マイクロツーリズムや市内の自然等を生かした体験型観光の促進及び福井の魅力を体感できるオンラインツアーを実施する『周遊・滞在・体験観光推進事業』、認定事業者などに対してスマート農機具の導入を支援する『スマート農業導入実証事業』、流通が停滞した地元水産物を使った加工食品を市内小・中学校に提供する『地魚消費応援事業』、地方移住への関心の高まりを

受け、本市と都市住民等をつなぐ接点となる「ふくい関係案内人」を発掘するワークシヨップの開催と、収集した情報を冊子及び動画にして情報発信する『ふくい関係案内人ブック&ムービー制作事業』、住みよさなどの本市の情報を発信するほか、移住支援金に特別加算を設け、移住を促進する『移住キャンペーン』などに、13億3,021万8千円を計上するものです。

また、中央大通りにおいて、車道を減らして歩行者空間を拡充し、オープンカフェ等の導入を検討するため、「ほこみち」制度導入に向けた社会実験を行う『福井駅周辺歩行者空間活用事業』、先進医療として実施される不育症検査の費用を一部助成する『不育症検査費用助成事業』、児童・生徒が自らの地域の魅力を発信するCMを作成する『ふるさとの魅力発信推進事業』などに、7,934万6千円を、その他災害復旧や東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプなど、各種施策を推進するための取組として、9,955万9千円を計上するものです。

条例

○福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、個人市民税における医療費控除の特例（セルフメディケーション税制）の適用期限を5年、住宅借入金等特別税額控除の特例の適用年度等を1年、それぞれ延長し、その他所要の規定の整備を行うものです。

○福井市介護保険条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対し、介護保険料の減免の申請期限を令和3年度においても撤廃する特例

○すかっとランド九頭竜の設置及び管理に関する条例の廃止について
すかっとランド九頭竜については、施設の必要性を整理した結果、既存の公共及び民間の各種サービスで機能を代替できることから、当該施設

の設置及び管理に関する条例を廃止するものです。

人事案件

○監査委員

令和3年6月29日をもって任期満了となる委員の後任として、浅野信也氏を選任することに同意しました。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
(委員会終了順に掲載)

新型コロナウイルス等影響対策特別委員会

《ワクチン接種の現状について》

問 県は、高齢者向けの接種について、県内全ての市町で

7月中に完了する見通しが立ったと発表しているが、医師の数やワクチンの供給量を含め、市として完了できる体制は整っているのか。

答 これまで土曜日、日曜日としていた集団接種の接種

建設委員会

《福井駅周辺歩行者空間活用事業》

日に木曜日を新たに追加することなどで、接種数を5千回ほど増やすことができるため、計算上では市内全高齢者の76%に対して予約枠を確保することが可能となる。さらに、個別接種の拡充や県の大規模接種による増加分を考慮すると、当初から想定していた80%という一つの目安に達する見込みであることから、見直しはついたと言っておりよいのではないかと考えている。

問 中央大通りなどの道路空間を活用してオープンカフェ等を設置する社会実験の実施に当たり、出店者の選定や地元との調整などのコーディネート業務を民間事業者に委託することだが、地元の商店などとの間にあつれきが生じないよう何らかの対策を考えているのか。

答 社会実験に際しては、出店者や地元の商店を対象にアンケートを行う予定であり、その結果を踏まえてワークショップを開催したいと考えている。このワークショップを通して機運を高めると同時に、地元の理解も得ながら事業を進めていきたい。

《移住キャンペーン》

問 令和2年10月に支給を開始した福井市Uターン移住就職等支援金（全国型）には、本市への移住者のうち、医療・介護職に10万円、在宅勤務者に5万円のコロナ対策特別加算枠が設けられていた。今回の6月補正により、これらの対象者にはさらに10万円を加算することとなるのか。

答 当該支援金における特別加算は令和2年度限定の措置であったが、現在もなおコロナの影響が継続していることや、国においてテレワークが推奨されていることから、令和3年度も引き続き加算して支給できるように補正予算を計上した。

総務委員会

入り、2階は県内各地の特産物などを紹介する展示スペースを整備する予定であるが、具体的な活用方法は現在検討中である。本施設を県内市町に積極的に活用してもらえよう、今後しっかりと周知していきたい。

経済企業委員会

《オンラインツアーによる魅力発信事業》

問 ツアーを今年度3回実施することのことだが、具体的な内容は決まっているのか。

答 昨年度もオンラインツアーを実施した福井市観光協会 の意見を聞きながら、今後、具体的に内容を詰めていくこととなるが、一乗谷朝倉氏遺跡の山城など、普段はなかなか訪れることができないようなスポットを紹介したり、本市を舞台とするアニメの聖地など、オンラインツアー後のファンによる聖地巡礼やSNSでの拡散が期待できる素材の活用などを検討していきたい。

教育民生委員会

《ごみ処理施設整備・運営事業》

問 運営期間が20年と長期に及ぶことで、法改正や人口の減少に伴うごみの量の変化に対し、柔軟に対応できないのではないかと。

答 DBO方式による実施に当たってはリスク分担を行うっており、法改正に対応するために生じる経費は市が負担することになる。また、ごみの量の増減が一定の範囲を超える場合は、ごみの量に応じて支払額を変更するため、運営期間が20年であっても諸課題に十分に対応できる。

問 地元企業の参画や市内業者からの物品調達など具体的な条件を盛り込むべきと考えるが、どのような方針なのか。

答 地元企業や地元産材、市内の技術者を最大限に活用するなど、地域密着型の事業とすることを要求水準書に明記するとともに、さらに地元住民の雇用促進や物品、器具の調達の際の市内企業等の積極的な活用も促していきたい。

建設委員会

《工事請負契約の締結について（北陸新幹線福井駅（東口）拡張施設新築工事）》

問 この施設には県内市町のPRブースが設けられると聞かすが、具体的にはどのような施設として整備する予定なのか。

答 1階には県内全域の観光をPRする観光案内所が

《移住キャンペーン》

問 今回から新たに小規模事業者事業承継を対象とし

答 当該支援金における特別加算は令和2年度限定の措置であったが、現在もなおコロナの影響が継続していることや、国においてテレワークが推奨されていることから、令和3年度も引き続き加算して支給できるように補正予算を計上した。

総務委員会

て加える理由は。本市では、小規模事業者の割合が高く、地域経済に果たしている役割は大きいものの、経営者の高齢化に伴う深刻な後継者不足による事業承継が課題となっており、事業を承継するために本市への移住を決める方々を後押しするため、特別加算枠を新設した。

経済企業委員会

《オンラインツアーによる魅力発信事業》

問 ツアーを今年度3回実施することのことだが、具体的な内容は決まっているのか。

答 昨年度もオンラインツアーを実施した福井市観光協会 の意見を聞きながら、今後、具体的に内容を詰めていくこととなるが、一乗谷朝倉氏遺跡の山城など、普段はなかなか訪れることができないようなスポットを紹介したり、本市を舞台とするアニメの聖地など、オンラインツアー後のファンによる聖地巡礼やSNSでの拡散が期待できる素材の活用などを検討していきたい。

教育民生委員会

《ごみ処理施設整備・運営事業》

問 運営期間が20年と長期に及ぶことで、法改正や人口の減少に伴うごみの量の変化に対し、柔軟に対応できないのではないかと。

答 DBO方式による実施に当たってはリスク分担を行うっており、法改正に対応するために生じる経費は市が負担することになる。また、ごみの量の増減が一定の範囲を超える場合は、ごみの量に応じて支払額を変更するため、運営期間が20年であっても諸課題に十分に対応できる。

問 地元企業の参画や市内業者からの物品調達など具体的な条件を盛り込むべきと考えるが、どのような方針なのか。

答 地元企業や地元産材、市内の技術者を最大限に活用するなど、地域密着型の事業とすることを要求水準書に明記するとともに、さらに地元住民の雇用促進や物品、器具の調達の際の市内企業等の積極的な活用も促していきたい。

《総括について》

問 第3波の際に発生した県内他市の介護施設でのクラスターに関する知見を基に、本市での事業に素早く対応したとのことだが、この施設では感染対策がしっかりと講じられていたと聞いている。今回の事例についての知見は、今後県と市で共有していくのか。

答 県のクラスター対策班と情報を共有しながら分析を行っているところである。今回得られた経験を同様の施設においても生かせるよう、今後もしっかり取り組んでいきたい。 ※本委員会は6月7日の本会議において調査を終了することに決しました。

建設委員会

《工事請負契約の締結について（北陸新幹線福井駅（東口）拡張施設新築工事）》

問 この施設には県内市町のPRブースが設けられると聞かすが、具体的にはどのような施設として整備する予定なのか。

答 1階には県内全域の観光をPRする観光案内所が

《移住キャンペーン》

問 今回から新たに小規模事業者事業承継を対象とし

答 当該支援金における特別加算は令和2年度限定の措置であったが、現在もなおコロナの影響が継続していることや、国においてテレワークが推奨されていることから、令和3年度も引き続き加算して支給できるように補正予算を計上した。

総務委員会

て加える理由は。本市では、小規模事業者の割合が高く、地域経済に果たしている役割は大きいものの、経営者の高齢化に伴う深刻な後継者不足による事業承継が課題となっており、事業を承継するために本市への移住を決める方々を後押しするため、特別加算枠を新設した。

経済企業委員会

《オンラインツアーによる魅力発信事業》

問 ツアーを今年度3回実施することのことだが、具体的な内容は決まっているのか。

答 昨年度もオンラインツアーを実施した福井市観光協会 の意見を聞きながら、今後、具体的に内容を詰めていくこととなるが、一乗谷朝倉氏遺跡の山城など、普段はなかなか訪れることができないようなスポットを紹介したり、本市を舞台とするアニメの聖地など、オンラインツアー後のファンによる聖地巡礼やSNSでの拡散が期待できる素材の活用などを検討していきたい。

教育民生委員会

《ごみ処理施設整備・運営事業》

問 運営期間が20年と長期に及ぶことで、法改正や人口の減少に伴うごみの量の変化に対し、柔軟に対応できないのではないかと。

答 DBO方式による実施に当たってはリスク分担を行うっており、法改正に対応するために生じる経費は市が負担することになる。また、ごみの量の増減が一定の範囲を超える場合は、ごみの量に応じて支払額を変更するため、運営期間が20年であっても諸課題に十分に対応できる。

問 地元企業の参画や市内業者からの物品調達など具体的な条件を盛り込むべきと考えるが、どのような方針なのか。

答 地元企業や地元産材、市内の技術者を最大限に活用するなど、地域密着型の事業とすることを要求水準書に明記するとともに、さらに地元住民の雇用促進や物品、器具の調達の際の市内企業等の積極的な活用も促していきたい。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、6月14日から16日まで3日間、21人の議員が一般質問を行いました。
※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、通告内容の掲載は大項目のみです。
なお、会派名は令和3年6月定例会時点のものを記載しています。

① 榊原 光賀 (一真会) 1 新型コロナウイルス感染症長期化に伴う子育て支援について 2 新型コロナウイルス感染症長期化に伴う地域経済支援について 3 本市における福祉事業について	⑧ 酒井 良樹 (市民クラブ) 1 新型コロナウイルス対策について 2 ふくいプロモーションについて 3 職員数の適正化に向けた取組について 4 文化芸術活動の活性化について	⑮ 奥島 光晴 (新生ふくい) 1 コロナ禍における持続性のある地域経済対策について 2 ヤングケアラーの実態とその支援策について
② 今村 辰和 (一真会) 1 新型コロナワクチン接種の現状と課題について 2 スロベニアのホストタウンについて 3 JR越美北線について	⑨ 山田 文葉 (日本共産党) 1 コロナ禍での経済対策について 2 生理の貧困について 3 ジェンダー平等について	⑯ 堀川 秀樹 (市民クラブ) 1 がんばれ福井飲食業イメージ回復支援事業について 2 坂本龍馬を縁とする高知市との協定締結及び観光プロモーションについて 3 JR福井駅周辺の自転車駐車場整備促進について 4 東京オリンピック・パラリンピックにおけるスロベニア選手団の事前キャンプ開催について
③ 野嶋 祐記 (志政会) 1 第4次福井市環境基本計画等について	⑩ 近藤 寛 (無所属) 1 第八次福井市総合計画について 2 パブリック・コメントについて 3 総務部長の人事異動について 4 住民監査請求について 5 公営企業会計決算審査意見書について 6 特別措置分(下水道事業会計への一般会計繰入金)について 7 下水道事業会計からの27,500万円の返還について 8 ウィグルでの人権弾圧(ジェノサイド)、武漢コロナウイルスについて	⑰ 岩佐 武彦 (一真会) 1 JR越美北線の利便性の確保について 2 ふるさと納税について 3 犯罪被害者支援について
④ 片矢 修一 (市民クラブ) 1 新型コロナウイルス感染予防対策について 2 福井市新ごみ処理施設整備・運営事業について 3 市街地再開発事業の進捗状況について 4 道路除雪計画について	⑪ 福野 大輔 (一真会) 1 新型コロナワクチン接種について 2 福井フェニックスまつりについて 3 LINEの個人情報管理問題について	⑱ 寺島 恭也 (一真会) 1 所有者不明土地問題について 2 並行在来線新駅の設置について 3 プラスチック資源循環促進法の成立に伴う本市のごみ処理の考え方について
⑤ 田中 義乃 (新生ふくい) 1 雇用について 2 地域交通について 3 観光について	⑫ 泉 和弥 (新生ふくい) 1 森林環境譲与税について 2 ごみ処理施設整備事業について 3 ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンに掲げる取組の進捗状況について 4 福井市通学路安全プログラムについて	⑲ 八田 一以 (一真会) 1 デジタルトランスフォーメーション(DX)と全域交通ネットワークについて
⑥ 津田 かおり (公明党) 1 孤独・孤立対策について 2 女性支援について 3 防災対策について	⑬ 菅生 敬一 (公明党) 1 新型コロナワクチン接種について 2 奨学金返還支援制度について 3 GIGAスクール構想の実現について 4 東山健康運動公園について	⑳ 青木 幹雄 (一真会) 1 まちづくりについて
⑦ 堀江 廣海 (一真会) 1 コロナ禍の希望と安心の福井づくり 2 安全なまちづくり	⑭ 鈴木 正樹 (日本共産党) 1 新型コロナへの対応とPCR検査の拡大について 2 オリンピックの開催とその危険性について 3 JR越美北線の減便問題について 4 学校統廃合問題について	㉑ 水島 秀晃 (一真会) 1 関係人口への取組について 2 防災への取組について

を談年タき複談を度実制本方
進窓度1る難先を設現整備市向
め口からより化の置からの備市で
とらりようした分の置から業業は
し新そ自た課検と要と業業は、
開にを立立課検と要と業業は、
設福拡ポ一にも案討していく。
す社充ト対のチ、生支施す
準総しト対のチ、生支施す
備相来んで、相ム年會体する

回 答
を産少
なる子
医療費み
年生まで助成の充てに育が
いて、来年度から対象を、環
方向で検討して、実施す
る。取組の必要性について

質 問
の長期化に伴う子育て支援と本市における福祉事業について



さかさばら みつよし
榊原 光賀 議員
一真会

一般質問要旨



新型コロナウイルスワクチン接種とJR越美北線について

質問

高齢者のワクチン接種を7月末までに完了することだが、ワクチンや医療従事者の確保の見通しはたっているのか。
また、越美北線は、日常生活に欠かせない重要な路線であるため、減便の撤回を要望するがどうか。

回答

国は6月末までに全高齢者が2回接種できる量のワクチンを供給できるとの見通しを示しており、本市においても接種に必要な量のワクチンは確保できるものと考えている。また、各団体の全面的な協力を得て集団接種の実施体制を構築しており、医療従事者はしっかりと確保できている状況である。
越美北線の減便は、地元住民の生活だけでなく北陸新幹線福井開業を見据えた観光誘客にも大きな影響を及ぼすと考えており、JR西日本に対し、県、大野市とともに運行本数の維持や利便性の向上について強く要望を行った。今後も、現行本数の維持、利便性の確保を求めていく。



第4次福井市環境基本計画について

質問

第4次福井市環境基本計画の基本方針の一つ「地球温暖化対策・エネルギーの取組として、ZEH(ゼッチ)やZEB(ゼブ)などのエネルギーの高効率住宅・建物の普及が重要と考える。今後、市が新たに建築する新クリーンセンターなどや、改修を行う建物については、ZEBを取り入れた設計を進めるのか。

回答

ZEBは、高断熱化や高効率設備の導入による省エネルギーの推進と太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入を組み合わせ、年間エネルギー消費量の実質ゼロを目指した建物のことであり、温暖化対策に有効なものとなる。
今後はZEBを取り入れた公共施設の設計を市のエコオフィスプランの環境配慮指針に明確に位置づけることで、より一層取組を進めていく。



新型コロナウイルス感染症予防対策について

質問

ワクチンの個別接種においてキャンセルが出た場合、余剰ワクチンの取扱いはどのようになるのか。
また、より多くの方に、より早く、スムーズに接種するため、64歳以下の一般接種のクーポン券を早期に発送できないのか。

回答

個別の医療機関や診療所において、既に接種券をお持ちの方のうち、通院や入院されている方、後日予約をしている方に余剰ワクチンを接種している。それでもなお余剰が出た場合の取組として、市医師会との協議の上、小・中学校の教職員、保育士、幼稚園教諭等に接種している。
また、6月23日頃に、60歳から64歳までの方に接種券を送付することとしており、早い方であれば、7月上旬から接種可能となると見込んでいく。



女性の雇用状況について

質問

コロナ禍により、特に女性の非正規雇用労働者数が大きく減少した。パートタイム労働者への待遇差別や、子育ての負担が女性に偏っている現状について、早急に改善を進めていくことが求められているが、立場の弱い非正規雇用の女性に対する労働環境改善の取組について伺う。

回答

不合理な待遇差については、既に働き方改革の一環として、短時間労働者及び有期雇用労働者の雇用管理の改善等に関する法律が令和2年4月に施行され、正規雇用労働者と非正規雇用労働者との間に、不合理な待遇差を設けることが禁止されている。
本市としては、引き続き事業主に法の趣旨や内容の周知・広報を行うとともに、ふくい働き方改革推進支援センターと連携し、誰もが働き続けることができる職場の環境づくりを推進していく。



「断らない」相談支援へ

質問

生活困窮者等から窓口へ寄せられる相談件数は年々増加し、相談内容も複雑化・複合化している。重層的支援体制整備事業に先行し設置予定の福祉総合相談窓口の概要は。
また、社会福祉協議会の機能を市役所内にも設けることは包括的相談支援体制の構築に欠かせないと考えるが、本市の見解を伺う。

回答

福祉総合相談窓口は、相談先の分からない案件を受け付けたり、分野ごとの相談機関では対応できない複雑化した案件について、問題の分析、支援の方向性や各相談機関の役割分担などの決定を行い、全体を調整する機能を持つ。
また、市役所内に社会福祉協議会の機能を設けるなど、社協との連携を強化することは、相談者の一体的な支援につながるものと考えられる。今後、福祉総合相談窓口の運用について検討する中で、社協との連携方法について課題を整理していく。

コロナ禍の希望と安心の福井づくり



ほりえ ひろみ
堀江 廣海 議員
—真会

質問

財政再建の中、コロナ禍における希望と安心の福井づくりについてどのように考えているのか。
また、国からの情報が直接入ってくるという中核市のメリットを生かすため、どのような情報収集体制としているのか。

回答

限られた予算の中で、ピンチをチャンスに変えられるよう、地域経済活動をしつかり下支えするとともに、感染拡大防止に全力で取り組むことで、「誰もが笑顔で暮らせる 希望と安心のふくい」を実現していく。
中核市移行後は、国から直接、情報提供を受けるほか、中核市市長会や全国保健所長会など、全国規模の各種会議にて、関係省庁との意見交換や情報収集を行っている。今後も、東京事務所を活用や中核市同士の情報交換により、国の情報の積極的な収集、動向把握に努めていく。

文化芸術活動の活性化について



さかい よしき
酒井 良樹 議員
市民クラブ

質問

福井市文化会館が閉館となり、フェニックス・プラザが代替施設となったが、本市には本格的な音響設備や演劇関連機能を持つ文化芸術の拠点は無くなってしまった。今後どのような対応をしていくのか。また、新文化会館の整備についての状況は。

回答

フェニックス・プラザについては、文化団体や学校が文化会館と同程度の条件で利用できるよう、減免措置の見直しや利用条件の整備を行った。加えて、4月には日本舞踊やバレエの公演等を使用する舞台道具や備品等を、文化会館からフェニックス・プラザに移動した。8月下旬には舞台調光装置についても移設が完了する予定である。
新文化会館の整備については、財政再建計画の進捗状況を見極めながら、その時点における本市を取り巻く社会情勢や財政状況等を勘案した上で、総合的に判断する。

学校のトイレに生理用品を整備



やまだ ふみは
山田 文葉 議員
日本共産党

質問

コロナ禍において、経済的な理由などで生理用品を手に入れることができない「生理の貧困」は増えている。保健室で「生活に困っている生徒だけに渡す」というルールでは「私は貧乏です」と先生に伝えなければならず心理的障壁が高い。必要に応じてすぐ使用できるように学校のトイレに生理用品を整備すべきではないのか。

回答

児童・生徒が心身ともに健やかな学校生活を送れるよう、突然生理になつてしまったときや、持ち合わせを使い切ってしまったときなど緊急時に備えて、これまでも全ての小・中学校で生理用品を常備しており、必要時に教職員が手渡している。対面の受け取りに抵抗がある場合や、いわゆる生理の貧困への対応として、生理用品を保健室の一角やトイレ内の手洗い場付近に備え置かねなく手にできるよう配慮することや、返却を求めないことなどを、全小・中学校に依頼した。

総務部長の人事異動について



こんどう みのる
近藤 實 議員
無所属

質問

令和3年度の総務部長の任期は、定年退職までの1年である。なぜ総務部長は毎年1年任期なのか。同様の人事異動が、もう10年ほども続いている。毎年、1年間だけ総務部長をすることの意味合いは何か。

回答

総務部長は、組織体制の整備や人事管理、総合計画の立案や進捗管理、行財政改革や地方分権の推進など、行政運営上、極めて重要な職責を担っている。このため、豊富な知識と経験に加え、強いリーダーシップと高度なマネジメント能力が必要であることから、幅広い分野での知識・経験を有し、かつ他の部長職を経験した職員を総務部長に登用することを基本としている。
本市では総務部長をはじめ部長職等の任期は定めていない。その年における市全体の行政課題を考慮し、最善の人事を行っている。

LINEの個人情報管理問題について



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
—真会

質問

LINEアプリの個人情報中国企業からアクセス可能だった等のマスコミ報道があった。本市でも行政サービスにおいてLINEやLINE Payを活用しているが、問題発覚後、どのような対応を行い、今後どのような活用を考えているか。

回答

福井市公式LINEについては、登録者の個人情報には直接的には関与しないと判断し、問題発覚後も運用を続けている。
LINE Payについては、市税や各種施設利用料等の収納業務で利用している。これらの収納業務については安全性が確認されるまで慎重な対応が必要と判断し、4月2日付でLINE Payの利用を停止する方針を決め、順次利用を停止した。
現在は、国のガイドラインに基づき、収納代行業者との契約内容や安全性の確認ができ次第、順次再開している。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。



いずみ かずや
泉 和弥 議員
新生ふくい

ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンに掲げる取組の進捗状況について

質問

福井市を圏域の中心市として地域の一体的、持続的な発展を図るため、「ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン」を策定し、7市4町の連携の下、取り組まれて、今年で3年目になる。今までの取組と成果、今後の展開は。

回答

本市は、一昨年4月にふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンを策定、公表し、都市圏に求められる圏域全体の経済成長の牽引、高次の都市機能の集積・強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上の3つの役割を果たすため、都市圏ビジョンに掲げた56の取組を実施している。

今後連携市町と密接に意思疎通を図ることで、より強固な関係を構築し、それぞれの市町の個性と魅力を磨き高めていく。さらに、連携中枢都市圏における取組を通じて、活力と魅力あふれる経済、生活圏の実現を目指していく。



すぎ けいいち
菅生 敬一 議員
公明党

GIGAスクール構想について

質問

市では令和2年度末までに児童・生徒1人1台の端末と、学校内の高速大容量ネットワークを整備したが、各教室にあるWiFiは職員室にはなく、授業の準備に困っているとの先生の声がある。特別教室にもまだ整備されていないようだが、どのように考えているのか。

回答

現在、教員の端末は情報漏えい防止の観点から、WiFiではなく有線接続による教員専用のネットワークを構築している。今後は、現システムの更新時に職員室へのWiFi導入を視野に入れて、安全な仕組みの構築、導入を検討していく。

特別教室については、学校に複数台整備している移動式の無線アクセスポイントを接続することで、WiFiが利用可能になっている。今後、機器更新時に特別教室への無線アクセスポイントの常設を検討していく。



すずき しよじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

スロベニア事前キャンプは再考を

質問

スロベニアでは205万人の国民のうち、25万4千人が新型コロナウイルスに感染し、世界で最も多く感染が広がった国の一つである。今回は、スロベニア選手団のオリンピック・パラリンピック事前キャンプの受入れはご遠慮いただき、コロナのパンデミック終了後に交流の方法を考えてはどうか。

回答

国は、事前キャンプについて、選手や大会関係者の感染対策をしっかりとして、安心して参加できるようにするとともに、国民の命と健康を守っていくことに全力を尽くすと明言している。本市で事前キャンプをする際は、感染症対策の徹底を図り、市民の皆様にも安心していただける事前キャンプを実施していく。



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
新生ふくい

コロナ禍における持続性のある地域経済対策について

質問

令和2年2月から直近までに1,519件の破綻・倒産があり、今後も増加が見込まれる。要因は、企業が仕事を受注できず、企業の体力が消耗していることにある。国も地方自治体も支援策を講じているが持続性がない。そこで、公共施設の長寿命化計画や補修等を前倒しし、発注してはどうか。

回答

施設の長寿命化を図るため、福井市施設マネジメント計画や福井市公共施設等総合管理計画を策定し、建物の状況に応じて優先順位をつけ、施設全体の最適化や長寿命化などに取り組んでいる。今回の6月補正予算では国の臨時交付金を活用し、小・中学校の特別教室に空調設備を前倒しで整備するための予算を計上した。今後も厳しい財政状況が続くと見込まれるが、交付金や有利な市債などを活用するとともに、国の動向を見極めながら、適切に施設の管理・更新を行っていく。



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹 議員
市民クラブ

坂本龍馬を縁とする高知市との協定締結及び観光プロモーションについて

質問

158年前、坂本龍馬に松平春嶽が5千両を用立てたという逸話にちなみ、観光振興・歴史文化活用対策特別委員会において、龍馬とゆかりのある高知市との合同プロモーションの実施などを提言した。現在、検討している観光プロモーションの内容を速やかに公表することで、市民の期待感が高まると思われるがどうか。

回答

高知市との合同プロモーションは、龍馬の誕生日であり命日でもある11月15日に京都市で実施することとしている。当日は、京都市内で多くの龍馬関連行事が行われ、全国の龍馬ファンが訪れることから、「龍馬ゆかりの地・福井」をPRし、観光誘客につなげたいと考えている。具体的な内容は、現在協議しているところであり、より話題性のある内容にしていきたい。今後も継続的に合同プロモーションを行っていきたいと考えており、両市間での協定等についても検討している。

犯罪被害者支援について



いわさ たけひこ
岩佐 武彦 議員
一真会

質問

犯罪被害者は、今まで経験したことのない強いショックを受け、様々な苦痛が重くのしかかり、苦しめられる。そこで、本市において犯罪被害者支援条例を制定し、市民に寄り添った支援を実施すべきと考えるが、所見は。

回答

犯罪被害者等が一日も早く被害から回復するためには、犯罪被害者等が現に直面する困難な状況を打開し、再び平穏な生活を営むことができるよう、犯罪被害者等一人一人に寄り添ったきめ細かな充実した支援が必要であると認識している。このため、本市の支援状況を踏まえつつ、社会情勢や他市町の動向を注視しながら、支援内容について関係所属と協議していく。

並行在来線新駅の設置について



てらしま きょうや
寺島 恭也 議員
一真会

質問

北陸新幹線の二次交通の一つとして、開業後にJRから経営分離される並行在来線について、今後の利用促進策を議論することが重要だと考える。並行在来線新駅の設置に向けた基本的な流れと並行在来線の利用促進策について伺う。

回答

新駅設置のためには、10月に策定予定の福井県並行在来線経営計画に新駅を位置づける必要がある。その後、関係機関と協議を行い、基本設計、実施設計を終え、工事に着手するのが一般的である。また、昨年度実施した並行在来線の利用促進策を検討するためのアンケート調査では、駐車場や駐輪場の整備・拡充、駅舎を活用したイベントの実施などを求める意見が寄せられた。本市としては、パーク・アンド・ライド駐車場の拡充や駅舎の改修など、既存駅の機能向上も利用者増につながるものと考えている。今後は、県や並行在来線会社と共に計画的に取り組んでいきたい。

デジタルトランスフォーメーション(DX)と全域交通ネットワークについて



はった いちい
八田 一以 議員
一真会

質問

えちぜん鉄道の越前島橋駅には30台分のパーク・アンド・ライド駐車場はあるが、トイレがない。越前開発駅から松岡駅までの7駅の間にトイレがないのは越前島橋駅だけである。本駅周辺の公共下水道事業に合わせて、トイレの設置を検討してほしいと考えるがどうか。

回答

本市では越前島橋駅を乗継拠点として位置づけ、これまでパーク・アンド・ライド駐車場等の整備を実施してきた。第2次福井市都市交通戦略においては、地域拠点や乗継拠点となる駅の機能向上や待合環境の充実に取り組むこととしているため、越前島橋駅についても周辺の公共下水道事業に合わせ、早ければ来年度にもトイレ整備に取りかかるよう、地域住民やえちぜん鉄道と調整していく。

まちづくりについて



あおき みきお
青木 幹雄 議員
一真会

質問

これまで、当市のまちづくりに対する障がい者の声をどのように反映してきたのか。また、今後はその声をどのように生かしていくのか。

回答

本市では、福井市障がい者福祉基本計画に基づき、障がい者等の安全や利便性の向上に積極的に取り組んでいる。その一つとして、毎年、福井駅周辺や観光・文化施設等のバリアフリー調査を実施しており、その結果を基に福井駅西口のバスターミナル及びタクシー乗り場に計7基の音声案内装置を設置するなど、障がいのある方が生活しやすくなるよう改善に努めてきた。北陸新幹線の開業控え、今後は障がいのある方が福井を訪れることも増えてくるため、民間施設に対して必要な指導を行うとともに、観光おもてなし市民運動を通じて事業者への意識啓発に取り組むなど、障がいのある方にも行き届いた対応ができるよう努めていく。

防災への取組について



みずしま ひであき
水島 秀晃 議員
一真会

質問

春山地区において、コロナ禍における避難所の開設と運営を学ぶ防災訓練が公民館等の主催で行われた。実際に災害が起きたときは、高齢者や障がいのある方への配慮が必要となるが、体育館のトイレは洋式化されていないところが多い。体育館のトイレの洋式化の現状と今後について伺う。また、備蓄品の配備状況はどうなっているのか。

回答

指定避難所となっている小・中学校の体育館のトイレには洋式便器を男女それぞれ1基以上設置しており、洋式化率は61%となっているが、学校によっては洋式化率が半分に満たないところもあることから、今後はこれらのトイレの洋式化を進めていきたい。また、備蓄品については、指定避難所である小学校校敷地等に整備した56か所の備蓄倉庫に非常食やカセットガス発電機、簡易トイレ等、災害時に真っ先に必要となる物資を配備している。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。

(5月臨時会)		議案等の審議結果		
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第34号議案	監査委員の選任について	5月20日	同意	
第1号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市市税賦課徴収条例等の一部改正)	〃	承認	
第2号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市固定資産評価審査委員会に関する条例の一部改正)	〃	〃	
第3号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度福井市一般会計補正予算)	〃	〃	
第4号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度福井市一般会計補正予算)	〃	〃	
第5号報告	弾力条項適用の報告について(令和2年度福井市競輪特別会計)	〃	受理	
第6号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	〃	〃	

(6月定例会)		議案等の審議結果		
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第35号議案	令和3年度福井市一般会計補正予算	6月24日	原案可決	●
第36号議案	令和3年度福井市下水道事業会計補正予算	〃	〃	
第37号議案	福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について	〃	〃	
第38号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	〃	〃	
第39号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	〃	〃	
第40号議案	福井市国民健康保険条例の一部改正について	〃	〃	
第41号議案	福井市介護保険条例の一部改正について	〃	〃	
第42号議案	福井市中央卸売市場業務条例の一部改正について	〃	〃	
第43号議案	すかつとランド九頭竜の設置及び管理に関する条例の廃止について	〃	〃	
第44号議案	工事請負契約の締結について(北陸新幹線福井駅(東口)拡張施設新築工事)	〃	〃	●
第45号議案	財産の取得について(タブレット端末一式)	〃	〃	
第46号議案	令和3年度福井市一般会計補正予算	〃	〃	●
第47号議案	監査委員の選任について	〃	同意	
第7号報告	令和2年度福井市一般会計継続費の繰越しに関する報告について	6月7日	受理	
第8号報告	令和2年度福井市一般会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第9号報告	令和2年度福井市一般会計事故繰越しの繰越しに関する報告について	〃	〃	
第10号報告	令和2年度福井市水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃	

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第 11 号報告	令和2年度福井市簡易水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	6月7日	受理	
第 12 号報告	令和2年度福井市下水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第 13 号報告	令和2年度福井市下水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第 14 号報告	専決処分の報告について (和解及び損害賠償額の決定について)	〃	〃	
第 15 号報告	福井市土地開発公社の令和2年度決算に関する報告について	〃	〃	
第 16 号報告	福井市土地開発公社の令和3年度予算に関する報告について	〃	〃	
第 17 号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の令和2年度決算に関する報告について	〃	〃	
第 18 号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の令和3年度事業計画等に関する報告について	〃	〃	

(6月定例会) 請願・陳情等の審議結果

請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
請願第 8 号	日本政府に「核兵器禁止条約」への署名と批准を求める意見書提出について	6月24日	不採択	●
請願第 9 号	新型コロナ禍における米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める意見書提出について	〃	〃	●
陳情第 6 号	中華人民共和国による人権侵害問題に関する日本政府への意見書提出について	〃	〃	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛 …賛成 反 …反対
※原則議長（皆川信正）は採決に加わりません。
 なお、会派名は令和3年6月定例会時点のものを記載しています。

会派名 議員名	審議 結果	一真会											市民クラブ				志政会			公明党		新生ふくい		日本共産党		無所属								
		皆川 信正	見谷 喜代三	青木 幹雄	今村 辰和	堀江 廣海	八田 一以	福野 大輔	池上 優徳	水島 秀晃	寺島 恭也	柿原 光賀	岩佐 武彦	堀川 秀樹	玉村 正人	片矢 修一	村田 耕一	酒井 良樹	加藤 貞信	石丸 浜夫	野嶋 祐記	藤田 諭	伊藤 洋一	下畑 健二	菅生 敬一	津田 かおり	奥島 光晴	田中 義乃	泉 和弥	鈴木 正樹	山田 文葉	中村 綾菜	近藤 實	
6月定例会																																		
第35号議案	原案可決	-	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第44号議案	原案可決	-	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
第46号議案	原案可決	-	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
請願第8号	不採択	-	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
請願第9号	不採択	-	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
陳情第6号	不採択	-	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	

議長の動静 (令和3年4月～6月)

4月12日	令和3年度中核市議会議長会第1回総会 (書面議決)
15日	北信越市議会議長会評議員会 (書面議決)
20日	北信越市議会議長会第96回定期総会 (書面議決)
5月13日	全国競輪主催地議会議長会近畿部会総会 (書面議決)
17日	福井県市町振興協会理事会 (福井市)
24日	福井市北陸新幹線建設促進連絡協議会理事会 (福井市)、 福井市北陸新幹線建設促進連絡協議会総会 (福井市)
25日	全国市議会議長会理事会 (書面議決)
26日	全国市議会議長会定期総会 (書面議決)
6月1日	第128回全国競輪主催地議会議長会定期総会 (書面議決)
29日	全国市議会議長会理事会

5月臨時会

5月20日	議会運営委員会、 議員全員協議会、 本会議
-------	-----------------------------

6月定例会

6月7日	本会議
8日	議会運営委員会
14日	議員全員協議会、 本会議 (一般質問)
15日	本会議 (一般質問)
16日	本会議 (一般質問)
17日	総務委員会、建設委員会
18日	教育民生委員会、 経済企業委員会
22日	議会運営委員会
24日	議員全員協議会、本会議

臨時会・定例会外の議会日程 (令和3年4月～6月)

4月30日	議会運営委員会
5月24日	新型コロナウイルス等影響対策特別委員会
31日	議員全員協議会、議会運営委員会

編集後記

新型コロナウイルスの感染状況が見
通せない中、7月時点でコロナ感染症
の切り札となっているワクチン接種が広がりつつあります。
6月定例会においても、ワクチン接種についての質問が多くの議
員から寄せられ関心の高さが感じられました。
ワクチン接種が広がり、元の生活を送れる日が一日でも早く訪
れることを願っています。
(福野、岩佐)

福井市議会だより編集委員

委員長 田中 義乃 副委員長 堀川 秀樹
委員 片矢 修一、伊藤 洋一、福野 大輔、津田 かおり
山田 文葉、岩佐 武彦

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

一般質問の録画映像を各議員ごとに
スマートフォンやタブレット端末で
見るができます。

一般質問ページにおいて、各議員の顔写
真欄にある二次元コードをスマートフォ
ンやタブレット端末から読み取ると、その議
員の一般質問の動画が視聴できます。



傍聴して みませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、
ケーブルテレビのふくチャンネル121ch
で生中継及び録画放送されます。

傍聴をご希望される方へ

新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止に向けて、一定の間隔を確保してご着席いただくため、当分の間、傍聴席への入場を下記のとおり制限させていただきます。
・議場：40人まで うち車イス4席(本会議及び議員全員協議会など)
・各委員会室：2人まで(常任委員会など)
※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

本会議	定員97人 うち車イス6席
常任委員会	総務、建設、教育民生、経済企業
議会運営委員会	
特別委員会	財政再建下での持続的市勢発展対策、 予算
議員全員協議会	

今回は
9月定例会
です
日程は
ホームページに
掲載します



市議会HPはこちら

お問い合わせ 議会事務局 庶務課 **0776-20-5506**

福井市議会 日程 検索